

# 労務管理などを担う立場から 現場の理解・協力を得て 働き方改革の推進役を担う

社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院にて総務課課長補佐を務める門奈陽輔さん。主に労務担当として、給与計算や年末調整などの税務処理・人件費予算管理などを担う。また、医療現場で重要課題とされている「働き方改革」の推進に向け、医療現場の理解・協力を得ながら取り組みを進めている。

社会福祉法人聖隷福祉事業団  
聖隷佐倉市民病院  
総務課課長補佐  
**門奈陽輔さん**  
医療経営士3級



「事業計画策定ミーティング」の様子。多職種とともに病院のあり方を考えている



## 働きやすい環境づくりに向け 他部門と深くかかわりを持つ



働き方改革の推進役として、多職種と積極的にコミュニケーションを図る

たいと思っています」(門奈さん)  
多職種が一緒にあって  
病院のあり方・将来を考える  
同院のマネジメントにおける特  
徴的な取り組みの一つに、「事業

社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院は、2019年に新棟開設を含めたすべての改修工事を終え、病床数を34床増床、健診センターの拡張や手術室の増設、リハビリテーション室の拡大に伴うリハビリの充実など、機能強化に力を注いでいる。

同院の総務課の労務担当として、給与計算や年末調整などの税務処理・人件費予算管理などを担当しているのが、医療経営士3級の門奈陽輔さんだ。現在、医療従事者の働き方改革が進められるなかにあつて、労務管理などを担う立場からその推進役になることが期待されている。

「総務課として職員の労働環境を整備することにより時間外労働の抑制や有休取得の向上を目指していますが、現場の理解・協力なくしては実現しません。もともと、

職員はこう言った働きかけを増やし、職員が働きやすい環境づくりと離職の防止に向けて、他部門とさらに深くかかわりを持つていくことを支援している。

「今後はこうした働きかけを増やし、職員が働きやすい環境づくりと離職の防止に向けて、他部門とさらに深くかかわりを持つていくことを支援している。」

なかでも、働き方改革関連法の施行前から職員の労働環境の向上に積極的に取り組んできた放射線科に対しては、総務が集計している時間外労働や有休取得に関するデータを提供。たとえば、時間外労働に関しては職員別の時間数や季節変動、業務内容といった詳細なデータを伝えることで、科内で現状を把握し改善につなげていくことを支援している。

計画策定ミーティング」がある。これは、毎年12月に行われる、病院幹部と各部門の役職者が集まる大規模な会議で、経営課題や重要テーマごとにグループに分かれて自院が目指すべき方向性や行うべき取り組みを検討し、そのグループワークを通して目標設定のベースを立案するというものだ。さまざまな役割・立場の人がともに議論することで、相互理解につながり、現場の声を経営に反映させるという狙いがある。

びの場にもなっています。もちろん、現場の状況や課題をきちんと伝える役目があるので、責任感も生まれると感じています」と門奈さんは話す。

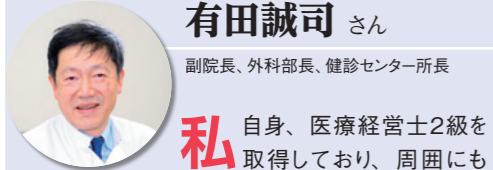
さらに門奈さん自身も、次世代のリーダーの人材育成に一役買っている。門奈さんが所属している研修委員会では職員階層別研修の企画・運営を担っているが、新人教育の一環として全職種による泊りがけの新人研修を実施。そのプログラムの一つとして、多職種協働のコミュニケーションやマネジメントについて学ぶことのできる体験型の実習を取り入れている。

次世代のリーダーを育てるといふ目的もあるため係長以上であればミーティングに参加可能で、門奈さんもここに加わっている。

「経営層の思いや考えを聞くことができる貴重な機会で、自らの学

「病院では、職員がコストや収益について学ぶ機会はほとんどありません。しかし、少しでも経営について知ることができれば、意識も変わってくると思っています。コスト意識や経営感覚を持った職員の育成を通じて、病院経営に貢献できたうれしく思います」と門奈さんは力強く語る。

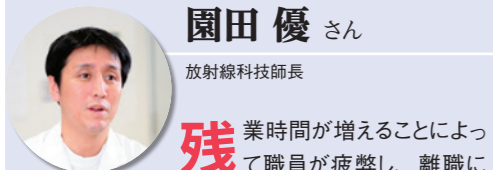
### 門奈さんへの声



**有田誠司さん**  
副院長、外科部長、健診センター所長

**私** 自身、医療経営士2級を取得しており、周囲にも取得をすすめていました。門奈さんから「ぜひ受けて」と相談されたことがきっかけで業務でも協力する機会が増えました。たとえば救急では、受け入れ強化に向けて毎週2人でミーティングを行い、門奈さんがまとめてくれた受入不可事例のデータを共有し、改善策を検討。その結果として救急応需件数を増加させることができました。

現在は働き方改革が推進されていますが、職員が元気になるれば、良い医療を提供でき、患者さんも元気になると思います。そういう正のスパイラルを生み出してほしいと期待しています。



**園田優さん**  
放射線科技師長

**残** 業時間が増えることによって職員が疲弊し、離職につなげてしまうのではと危機感を持っていました。

どう改善を図るべきかを考えるなかで、そもそも現状を把握しなければならぬと考え、門奈さんに相談したところ、詳細なデータを提供してくれました。現在当科では、データに基づいてどう改善していくかを話合っています。最近ではスタッフから「この作業は、この時間に皆で集中してやれば、時間外労働をせずにすむのでは」といった意見も出るようになりました。これは大きな変化です。

職場長としてスタッフの働き方を考えるために、今後いろいろな教えてもらえたらありがたいです。

### Profile

**もんな・ようすけ**  
●2003年、日本福祉大学を卒業後、社会福祉法人聖隷福祉事業団に入職。聖隷浜松病院にて外来医事課、研修センター、経営企画室、総務課での経験を経て、17年、聖隷佐倉市民病院に施設間異動。総務課にて人事・採用担当を経て、現在は主に労務管理を担当。18年4月より現職。医療経営士3級



社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院  
住所：〒285-8765 千葉県佐倉市江原台2-36-2  
TEL：043-486-1151  
URL：https://www.seirei.or.jp/sakura/  
病床数：338床

撮影=羽切利夫